授業科目名	共生への対話	単位数	2単位
担当教員名	天野一哉　基幹教員	担当形態	複数
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係

DP1.多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけることができる（貢献力）
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）
DP3.自分の専門以外の領域からも得られた知見を統合することができる（統合知）
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）
DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる（継続力）

授業のテーマ及び到達目標

共生とは何か、どうすれば実現するのか、自己の考えを語り、他者の話に耳を傾け、「共生科学」学習の基礎をつくり、計画を立案する。

授業の概要

教員、学生同士の対話により、トピックを決めて共生を考える。グループごとに「共生」についてのミニプレゼンを実施する(ショートショート・アクティブラーニング)。

授業計画

第1回:自己理解
第2回:他者理解
第3回:社会理解
第4回:自然(環境)理解
第5回:共生をどうとらえるか
第6回:共生社会をどうとらえるか
第7回:共生科学をどうとらえるか
第8回:課題設定(自己)
第9回:課題設定(グループワーク)
第10回:仮説立案(グループワーク)
第11回:調査(グループワーク)
第12回: 分析/考察(グループワーク)
第13回: プレゼンテーション(グループワーク)
第14回:省察
第15回:展望

スクーリングでの学修

第 1 回から第 8 回(自己学修)までの総括、第 9 回から第 13 回までをグループワークによって実施する。

テキスト

上田 紀行（2020）『新・大学でなにを学ぶか』岩波書店、978-4005009121

参考書・参考資料等

山脇直司ほか（2019）『共生科学概説 共生社会の構築のために』かまくら春秋社、978-4774080086

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）